

企業会計基準委員会の活動状況

議題

(企業会計基準委員会からの報告)

項目

1. 前回基準諮問会議(第 35 回、2019 年 3 月 7 日開催)後の企業会計基準委員会(ASBJ)の活動状況は次のとおりである。

I. 中期運営方針の策定

2. 2019 年 7 月 17 日に開催された第 412 回企業会計基準委員会より、企業会計基準委員会による中期運営方針の策定の議論を開始している(資料(3))を参照。

II. 日本基準の開発**(1) 現在の開発状況**

3. 日本基準を国際的に整合性あるものとするための取組みの状況は、以下のとおりである。

(1) 収益認識

収益に関する表示科目や注記事項の定めについて、2019 年 3 月より検討を開始している。2019 年 9 月に企業会計基準第 29 号「収益認識に関する会計基準」等を改正する公開草案を公表することを目標としている。

(2) 公正価値測定ガイダンス及び開示

2019 年 7 月 4 日に、企業会計基準第 30 号「時価の算定に関する会計基準」等を公表した(別紙 2 を参照)。

今後、投資信託の時価の算定に関して、会計基準公表後概ね 1 年をかけて検討を行い、検討後、その取扱いを改正することを予定している。また、貸借対照表に持分相当額を純額で計上する組合等への出資の時価の注記についても、投資信託の取扱いを改正する際に取扱いを明らかにすることを予定している。

(3) 金融商品

現在、個々の項目ごと(金融資産及び金融負債の分類及び測定、金融資産の減損及び一般ヘッジ会計)に開発に着手するか否かの検討を行なっている(別紙 3 を参照)。

- 金融資産の減損(主として銀行の貸倒引当金の算定方法)については開発に着手することを提案している。
- 一般ヘッジ会計については、IASB がマクロヘッジ会計の改正が未了であるため、当面、着手しないことを提案している。

- 分類及び測定（有価証券の評価等）については、まだ提案を行っていない。

(4) リース

2019 年 3 月に、すべてのリースについて資産及び負債を認識するリースに関する会計基準の開発に着手することを決定した（別紙 4 を参照）。現在、以下の項目について審議を行っており（④は未了）、関連する団体の参考人聴取も行っている。

- ① 費用配分のあり方
- ② 仮に IFRS 第 16 号との整合性を図る場合その整合性の程度
- ③ サービスに関してリースの対象とする取引の範囲
- ④ 延長オプションがある場合の比較可能性を担保する方策
- ⑤ 重要性に関する定め
- ⑥ 連結財務諸表と単体財務諸表の関係

4. その他の日本基準の開発の状況は以下のとおりである。

- (1) 2019 年 6 月 28 日に、改正実務対応報告第 18 号「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」を公表した（別紙 5 参照）。
- (2) 「見積りの不確実性の発生要因」及び「関連する会計基準等の定めが明らかでない場合に採用した会計処理の原則及び手続」に関する開示の充実を図ることを目的とした検討を行っている。
- (3) 「金利指標改革に起因する会計上の問題」（LIBOR が廃止されることが見込まれることへの対応）について、今後、基準開発の要否も含めて検討を行うことを予定している。
- (4) その他の現在の開発状況は、別紙 1 の「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」に記載している。

III. 国際対応

(1) 国際的な意見発信

5. 国際的な意見発信については、現在、国際会計基準審議会（IASB）の諮問機関である会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）を中心に行っている。前回基準諮問会議以後、2019 年 4 月及び 7 月の ASAF 会議に出席している。

(2) 他の国及び地域との連携

① 欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）代表者との会合

6. 欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）代表者との会合が、2019年7月10日にロンドンで開催された。

② 会計基準設定主体国際フォーラム（IFASS）会議への参加

7. 2019年3月28日及び29日に、会計基準設定主体国際フォーラム（IFASS）会議がブエノスアイレスで開催された。同会議において、川西副委員長がIFASS議長に就任している。

③ その他

8. 2019年4月29日及び30日に、米国、カナダ、ドイツ、英国及び日本の各会計基準設定主体による多国間ネットワーク会議がフランクフルト近郊で開催され、無形資産等について意見交換を行った。
9. 2019年5月15日及び16日に、香港の会計基準設定主体（香港会計士協会）のスタッフが来日し、のれんの会計処理に関する意見交換を行なった。
10. 2019年5月22日及び23日に、IASB フーガーホースト議長が来日し、のれんの会計処理等について意見交換を行った（6月のIASBボード会議について別紙6を参照）。

以 上